

平成 25 年 10 月 3 日

各 位

住 所 大阪府吹田市春日 3 丁目 20 番 8 号
会 社 名 シップヘルスケアホールディングス株式会社
代 表 者 の 代 表 取 締 役 社 長 古 川 國 久
役 職 氏 名
(コード番号：3360 東証第一部)
問い合わせ先 取締役経営企画室長 横山 裕司
電 話 番 号 0 6 - 6 3 6 9 - 0 1 3 0

ヘルスケアREITの立ち上げに向けた 資産保有会社の設立に関するお知らせ

当社は、株式会社三井住友銀行（以下、「三井住友銀行」という。）、NECキャピタルソリューション株式会社（以下、「NECAP」という。）と共同して、有料老人ホームやサービス付高齢者向け住宅、医療モール等に特化して投資するREIT（以下、「ヘルスケアREIT」という。）を立ち上げることに合意し、ヘルスケアREITの組入れ資産を取得するための資産保有会社が設立されましたので、お知らせいたします。

記

1. 目的

我が国では、急速な少子高齢化の進展への対策が急務となっており、政府は、①高齢者向け住宅を増やすことにより高齢者が安心して暮らすことのできる環境の整備（「住生活基本計画（平成 23 年 3 月）」）や、②ヘルスケアREITでの高齢者向け住宅の取得・運用に関するガイドラインの取り纏め（「日本再興戦略（平成 25 年 6 月）」）を定めています。

これらの状況を踏まえ、介護施設の供給促進を金融面で支援するための専用提携ローン等の実績を有する三井住友銀行、アセットマネジメント及び資産アドバイザー等の実績を有するNECAP、介護施設のオペレーター及びコンサルティング等の実績を有する当社が共同し、資産保有会社を設立いたしました。なお、ヘルスケアREITの資産運用を受託する予定である資産運用会社の設立についても、具体的に着手しております。

一般的に、介護施設は、オフィスビルや賃貸マンションと比較し流通市場が十分に整備されておらず、継続保有が前提となるため、開発手法は限定的とならざるを得ない状況ですが、ヘルスケアREITが介護施設を積極的に取得することで、流通市場の発達を促すことにより、介護施設の供給促進に資することが期待できます。

当社は、TPP事業領域で蓄積したノウハウをもって、医療と介護のコラボレーションの視点に立ち、用地取得から建設・運営までを一貫してプロデュースしてまいりました。また、不動産流動化をオペレーターの視点から実践し、最近では全国展開する事業会社のM&Aや新規投資を通じて、小規模多機能型居宅介護等の地域密着型サービスから都市部の大型複合施設まで、介護領域の様々なビジネスモデルの経営ノウハウを蓄積しております。

当社は、これらの実績と経験を活かし、今後も整備促進が求められるヘルスケア領域の社会基盤づくりの一翼を担うことで、社会に貢献してまいります。

2. 資産保有会社の概要

(1) 名 称	SMBCヘルスケアホルダー合同会社
(2) 出 資 者	株式会社三井住友銀行 NECキャピタルソリューション株式会社 当社
(3) 資産規模(当初目標)	200億円
(4) 保有対象不動産	有料老人ホーム サービス付高齢者向け住宅 医療モール その他上記に関連する施設

以上